

疲れたり、ストレスを抱えたりした時に、顔の一部がびくびくとけいれんすることがあると思います。これは誰にでも起こり得る症状ですが、けいれんがもっと広範囲に及ぶ場合は神経の病気の可能性もあります。症状や治療法について専門医に聞きました。

顔面けいれん

KARTE カルテ Q & A



石川朗宏医師

注意すべきは、顔の片側どちらかがぎゅっと引きつけられるようなけいれんです。一日中、常にけいれんが起きる人もいれば、何かの拍子にけいれんする

人もいます。いずれにせよ、誰が見ても違和感を覚えるようなレベルであれば「片側顔面けいれん」という神経の病気である可能性が高いです。
この病気は、顔の筋肉の動きをつかさどる「顔面神経」に血管が触れて起こります。主な原因

因は加齢による動脈硬化で血管が曲がることと考えられています。患者は中年以降の女性に多く、若い人はかなりまれです。

治療法は三つあります。一つは開頭手術を施し、血管と神経の間に隙間を作る方法です。顔面神経は耳の後ろのあたりにあります。上手な医者であれば5

多いです。

もう一つは飲み薬による治療ですが、現時点で特効薬はなく、効果が低いことがほとんどです。最後の一つはボツリヌス毒素療法といって、飲み薬と手術

の間のような位置つけです。ボツリヌス注射といえは聞いたことのある人もいるでしょう。か。けいれんがひどい筋肉に薬

手術や薬、毒素療法で治療

00円玉程度の穴を開けるだけで十分ですが、それでも基本的には難しい手術です。

すぐ近くに耳の神経もあるので、難聴などの合併症を起こす可能性もあります。手術は唯一の根治療法ですが、リスクの高さや恐怖心から選択しない人が

を注射し、顔面神経からの命令をブロックすることで症状を軽くする対症療法です。3〜4カ月で効果は切れますが、その分安全とも言えます。

一方、脳腫瘍が原因で顔面けいれんが起きている人もいます。いずれにしても治療を進め

る前にさまざまな検査をします。前にも、気になる方は脳神経外科や脳神経内科を受診してみてください。

(兵庫県医師会、石川朗宏神戸市須磨区、石川リハビリ脳神経外科クリニック院長)

◇第1、3、4日曜に掲載します。